

一般社団法人

異才ネットワーク



活動 報告書 2023

2023.4～2024.3

異才ネットワークは
多様性を認め合える社会の実現のために
行動します。

～もくじ～

1. わたしたちのミッション

2. 異才ネットワークのあゆみ

3. 事業報告

①大津オルタナティブスクール TRIUMPH～トライアンフ～

・不登校の子どもたちが運営する自家焙煎珈琲の店 カフェ・アンビシャス

②大人の発達凹凸の会 IROIRO～イロイロ～

③不登校の親の会 WAKUWAKU～ワクワク～

④生きづらさを抱えるギフテッド・2E の子をもつ親の会 SHINE～シャイン～

4. 決算報告(損益計算書・貸借対照表)



1. わたしたちのミッション

多様性が認められる社会の実現へ

見えない障害といわれる発達障害(神経発達症)...

当団体は、発達に偏りがあり、できることとできないことの差が大きく、周りの人や環境との間に様々な困りごとが起き、生きづらさを抱える人たちやその家族の会として発足しました。

発達がアンバランスな人たちは、その凸凹ゆえにみんな一様に同じことを求められる学校や会社、社会にフィットせず自己肯定感を損ないがちで、不登校や引きこもりになる場合も多くあります。また、突出した才能をもつギフテッド、タレンティッドや発達障害との併発である2E (Twice Exceptional: 二重の特別支援を要する子ども)の存在は日本においてはまだまだ知られてはおらず、適切な支援にたどりつけません。

私たちは、多様な特性を持つ人たちが社会の中で尊重され、ひとりひとりが力を発揮できるダイバーシティ社会の実現を目指し、発達障害について社会のすべての人に啓発すること、生きづらさを抱える子どもたちや保護者そしてすべての人が安心安全な環境の中で過ごせることを願って活動しています。



一般社団法人異才ネットワーク

代表理事 谷川 知
理事 直江 和子
理事 伊藤 いつか



3. 異才ネットワークのあゆみ

2018 年度	2月	市民活動団体 異才ネットワーク設立
	5月	セミナー「ボクが学校に行かなかったワケ」「発達凹凸をもつ人たち」
		どうだの会・茶話会
	8月	セミナー「不登校は不幸じゃない in 大津」
	9月	セミナー「よくわかる発達障害の基礎知識」
	3月	発達障害当事者の座談会開催
2019年度	6月	(一財)滋賀県民間社会福祉事業職員共済会地域共生型社会推進事業助成金受託 フリースクール開校準備開始
	9月	学校にフィットしない子どもたちのためのフリースクール トライアンフ開校 @大津百町館 週1回
	3月	トライアンフ 第1回ワクワク研究発表会開催
2020年	4月	一般社団法人化
		新型コロナウイルス感染拡大で休校(オンライン トライアンフ開催)
	6月	トライアンフ週2回開校へ
	8月	セミナー「不登校を知る 2020～コロナ禍の今、親として、支援者として子どもに何 ができるか」
	10月	カフェアンビシャス 明日都に出店(以後毎月第1・3金曜日開催)
	12月	セミナー「ギフトッドの子どもたちの将来を考える～学校にできること、 親にできること～」
	3月	セミナー「学習障害を知る～学びの違いをもつ人たちの困り感と支援」 大津市発達障害者支援センターかほん 小崎太陽 氏
		トライアンフ 第2回ワクワク研究発表会開催
2021年度	4月	トライアンフ 性教育「自分の心と体の守り方講座開催」
	7月	マンスリーサポーター募集
	8月	Facebook Live 異才の不登校駆け込み寺 開催 (不登校になりたての頃、通信制高校について、不登校からの海外留学)
	11月	大津市市民活動センター主催大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2022 「2030 年に大人になる子どもや若者とともに in 大津」フォーラムに代表登壇
		トライアンフ&親の会シャイン BBQ 交流会 vol.1 開催 @妹背の里
	12 月	セミナー「何を大切にするか-ギフトッド児の親ができること-」
		セミナー「2E の子どもの子育て～得意なことと苦手なことの間で～」
	1月	NHK 総合おうみ630 「優れた能力をもっていながら不登校になる子」放映
		NHK 総合ニュースほっと関西 「才能あるこどもたち 困難を抱く実態」放映
		NHK ワールド「Helping Children Explore Their Natural Talents」放映
	3月	FM しが電話出演

2022年度	5月	滋賀県フリースクール等連絡協議会設立 協力 滋賀県フリースクール等連絡協議会 加入、副会長に代表就任
	6月	トライアンフ 全力ボックスに移転 週3回(火水金)開校
	8月	トライアンフ生 USJ に遠足 トライアンフ絵画教室開催
	12月	セミナー「ギフテッド・2E 児の『好き』を伸ばす——おうち SEM の社会情緒的な効果」開催(知久麻衣氏)
	1月	一般財団法人 第一生命財団「緑の環境プラン大賞」採択決定
	3月	新拠点 庭、ビオトープ、ピザ窯完成 休眠預金活用助成事業「あらゆる子どもの育ちを保障する地域総動」採択決定 第4回 トライアンフマルシェ開催(ワクワク研究発表会から名称変更)
2023年度	5月	拠点改修事業開始
	7月	新拠点完成 内覧会実施
	8月	第1回ギャラリー展
	9月	国際水彩画交流展 奨学生制度創設のためのクラウドファンディング
	10月	みんなで行く家族旅行 鞆の浦～広島 セミナー「通信制高校のリアル」
	11月	東近江市長発言に対し、抗議文提出、滋賀県教育委員会へ意見文提出(協議会活動) 東近江市長対話、滋賀県知事、滋賀県教育委員会教育長対話(協議会活動)
	12月 3月	異才ネットワーク友の会第1回交流会開催(ピザパーティー) 第5回 トライアンフマルシェ開催

4. 事業報告

① 大津オルタナティブスクール TRIUMPH～トライアンフ～

(1) 活動の概要

毎週火・水・金曜日 10:00～13:00 全力ボックス（大津市長等2丁目7-2）

2023.8～ 新拠点(浜大津 4-3-25)に移転

2023.12～ 月2回、月曜を加えて開校

のべ参加人数 1,558 人（通学生 747 人、見学者・スタッフ他 811 人）

休眠預金活用事業「あらゆる子どもの育ちを保障する地域総動」による助成金を得て、8月に新拠点をオープンした。事業では、地域共生のための拠点整備をはじめ、ゲストティーチャーやアート事業を通じて、地域の方々に不登校や発達特性の子どもたちの現状をしってもらい、温かなまなざしで子どもの健全な育ちをサポートする環境を整えることを目指した。

●毎月第1・3金曜日 12:00～13:00 明日都浜大津 市民活動センター前

不登校の子どもたちが運営する自家焙煎珈琲の店「カフェ・アンビシャス」

トライアンフ開校以来、コーヒー好きの通学生の発案でコーヒーを生豆から焙煎し、子どもがコーヒーをドリップしてお客様に提供している。

2020年10月より、明日都浜大津の市民活動センター様のご厚意により、センター前にブースを設け、自家焙煎珈琲のお店を出店。

不登校の子どもたちが「おいしかったよ」や「持ってきてくれてありがとう」などの声をかけられて、自己有用感が育ち、ひいてはそれが自己肯定感につながる活動となっている。

(2) 活動の目的

学校にフィットしない子どものための第3の居場所として開校。

不登校となった子どもの安心安全な居場所、「エネルギーをチャージし、自らの学びへ」を念頭に、子どもの状態に合わせて、得意なことや興味のあることを軸に探求学習を行う。

将来の精神的経済的な自立を促すため、子どもの想いに寄り添うとともに多様なゲストティーチャーを迎え、学校の勉強ではない学びを応援する。

在籍校の判断により、出席認定となるように連携を実施し、多くのまなざしで子どもたちが健全に育ち、社会的な自立につながるようにサポートする

(3) 対象者

不登校、学校行き渋りの小中高校生

(4) 活動の内容

Switch等のゲーム、ボードゲーム、クラフト、ハーバリウム、石鹸づくり、カフェアンビシャス運営(後述)、飯盒炊飯やピザ窯を利用した屋外活動、調理実習、水彩画等の絵画、デジタルイラスト、公園遊び、びわ湖散策、宿泊旅行、学習支援等

【ゲストティーチャー】

ぼてじゃこ魚つかみ、性教育講座、大学教員との昆虫フィールドワーク、大学教員研究室訪問、伝統工芸「染色、組紐」、企業コラボでの「お金の話」、「日常のリスク発見講座」等

(5) 活動の効果

拠点改修後、通所につながる子どもたちが増え、学校に行きづらい子どもの居場所としての機能が高まった。子どもが増えることで、子ども同士の関わりが複層的になり、さまざまな子どもたち、またスタッフとの交流の中で、コミュニケーションを深め、気の合う子どもと仲良く過ごす様子を見ることはトライアンプの目的に即し、健全な育ちを形成できているものと思う。

家庭や学校と違う居場所を得ることで、子どもたちは不登校になってから初めて笑顔をみせたり、不安であった子どもがトライアンプには電車に乗って来れるなど大きな成長をみせている。今後も不登校の子どもが増えていくであろうと思われるが、子ども時代を子どもらしく、楽しく過ごし友達と遊び、学校の勉強とは違う学びの中で健やかに育つことで、成長したのちにも学校には行かなかったけれどもトライアンプに通い、多様な経験をしたことが子どもたちの心の基盤となると確信している。

(6) 課題

【活動場所について】

生徒数が増え、手狭になったこと、かつ聴覚に過敏で大人数を好まない特性の子どもが比較的多いため、より広い場所に移転したいというニーズが出てきている。子ども達にとって安心安全な居場所を継続して確保し、居心地の良い環境のなか健全な成長を促せる場所としたい。

【スタッフについて】

不登校児童生徒を抱える親や子どもが発達上の特性をもつ親が中心となってスタッフとして運営しているため、不登校の子どもへの理解はあるが、そもそも自分の子どものことで多忙になる傾向があり、安定したスタッフの配置が難しい時期が生じる。今後は多方面からボランティアを募り、運営に協力してもらうようにしたい。

【学校連携】

在籍生徒の増加とともに、学校連携に要する書類作成や連絡が多くなり、多くの時間が割かれるようになった。スタッフの不足もあいまって、十分な連携活動が困難になっている。

今後、成績評価など学校連携が煩雑になると、連携はしたいものの現実的に時間が取れないこともあり、さらに困難が生じられると思われる。行政に対しては、連携に係る時間に見合うフリースクール補助を訴えていきたいと思う。

② 大人の発達凹凸の会 IROIRO～イロイロ～

(1) 活動の概要

開催日	参加人数(うちスタッフ)	場所
4月16日(日)	10名(うちスタッフ 2名)	会場開催
6月18日(日)	12名(うちスタッフ 3名)	会場開催
8月27日(日)	16名(うちスタッフ 3名)	ZOOM 開催
1月21日(日)	9名(うちスタッフ 2名)	トライアンプ
計 4 回	のべ 47 名(うちスタッフ 10 名)	

(2) 活動の目的

発達凹凸を抱える大人が集まり、お互いの特性を尊重しながら、日頃の困りごとやその解決策を話し合う。発達障害当事者の生きづらさの緩和につなげる。

(3) 対象者

- ・発達障害の診断がある人
- ・発達障害の診断はないが、自分でそうかも…と思っている人
- ・発達障害グレーゾーンと思われる人
- ・生きづらさを抱える人

18 歳以上(興味のある 18 歳未満の方も保護者の承諾があれば参加できます。)

(4) 活動内容

5～6 名のグループに別れて日常の困り事などを話し合う。各グループに進行役のファシリテーターを必ず 1 名をおく。安心・安全な場を提供する為にルール(他者を否定しない、自分の意見を押し付けない等)を明確化し、ルールに反する行動があればファシリテーターが軌道修正を図る。

トライアンプ新拠点完成後の 1 月は大きなテーブルを囲みながら歓談し、互いの困り感を話すなど穏やかな環境の中でゆっくりと話し合うことができた。

(5) 活動の効果

- ・「同じ悩みを抱えているのは自分だけじゃなかった」と気付く事により、安心感を得ることができた。孤独からの解放や仲間意識が自然と芽生える効果
- ・発達障害に関する病院・薬・福祉制度等の知識の獲得。
- ・自分の思いを伝え、他者の話を聞くことで、自分の考えと異なる多様な価値観を知る事になり、自らの認知傾向を気づくことができる。
- ・生きづらさの低減。

(6) 参加者からの感想

- ・あまり身近では無い、職業や収入等に関する話題にも触れることが出来た。
- ・皆共通した悩みを持っていて、自分だけではないと安心できます。
- ・ADHD の孫は疲れやすいし、気を使ってくれてるんだなあ～というのが理解できました。
- ・感覚過敏がベースにあり、そこから発達障害となるのかなと思いました。
- ・自分では気付けなかった事に気づけた。そして友達の作り方や結婚等の話を聞きヒントを貰えた。

- ・ 日常生活で聞けないような話(感覚過敏・他人の表情がわからない・顔が覚えられない等)が聞けて、楽しく参加しています。ありがとうございました。
- ・ 同じ傾向や似た経験を聞けて親近感が湧き楽しかったです。
- ・ 恋愛に関する話を聞くことができて良かったです。また聞きたいです。
- ・ 普段、当事者の方の話を聞いたり、発達障害について話をする機会がほぼありません。性格的にも独りよがりな考えになり内にこもってしまうことが多い自分にとって、実際にみなさんの顔を見て声を聞いたことは、何より得がたい体験でした。
- ・ 自分の体験の一部でもこのようなかたちで話すことは、カウンセリングで話すこととまったく違う意味があり、それは参加してみてはじめて気づきました。
- ・ ASD／ADHD への自分の理解にすっかり自信を失っていましたが、夫に対する自分の態度は、ベストではないにしても認識のすべてが間違いでもないと思えて少しほっとできました。
- ・ 診断の是非や診断の実態について、経験者の方のお話が聞けたのはとても参考になりました。

③不登校の親の会 WAKUWAKU～ワクワク～

(1) 活動の概要

開催日	参加人数(うちスタッフ)	場所	備考
5月 25(木)	5 名(うちスタッフ 2 名) 子ども 1 名(スタッフ 2 名)	草津キラリエ 調理室 203 会議室	アクセサリ作り 内田美奈子氏
7月 24 日(月)	5 名(うちスタッフ 2 名)	草津キラリエ 和室	浴衣の着付け 山岡香里先生
10 月7(土)	12 名(うちスタッフ 3 名)	竜王町妹背の里	BBQ 交流会
12月 21(木)	6 名(うちスタッフ 2 名)	草津キラリエ 調理室	手軽に簡単パンづくり 河合真紀氏
2 月 22(木)	7 名(うちスタッフ 1 名)	草津キラリエ 調理室	スパイスカレー作り 松岡宏行氏
計 5 回	のべ 36 名 (うちスタッフ 12 名)		

(2) 活動の目的

発達障害や不登校、行き渋り傾向など困り感のある子どもを抱える保護者等が集まり、日頃の困りごとやその解決策を話し合える場をつくる。子どもの生きづらさの緩和につなげ、保護者の息抜きを図る。

(3) 対象者

- ・発達障害の診断がある子どもをもつ保護者
- ・発達障害グレーゾーンと思われる子どもの保護者
- ・不登校や行き渋り傾向の子どもの保護者
- ・その他子育てで困っていることがある保護者

(4) 活動内容

- ・ 日ごろ困っていることを共有する。
- ・ 経験者からの経験談を聞く。
- ・ 進路先、医療や保健との付き合い方、学校とのやりとり等の情報交換
- ・ お茶を飲みながらの忌憚のないおしゃべり。

(5) 活動の効果

- ① 保護者の情報交換の場(勉強のことや学校との連携、発達特性のことなど)
- ① 保護者同士のエンパワの場(共感しあうことで保護者を勇気づけ、孤立を防ぐ)
- ② 保護者のストレス発散(子ども抜きで日ごろのしんどさを吐き出し、楽になる)

今年度より、気軽に参加でき、参加に際して不登校の話題だけではなく、余暇活動として様々な分野の講師に来てもらい、新たな楽しみを見いだせるように趣向をこらした。

(6) 課題

トライアングルの保護者が来るケースが多く、新規の不登校の子どもを持つ親がくることは少なかった。フリースクールを運営しているので、どうしてもフリースクールに来るように言われるのではないかなど疑念もあるのではないかと考える。

今後はトライアングルのオープンデーなどをもうけ、フリースクールに興味ある人を対象にする方がよいのではないかと思った。

(7) 参加者からの感想

- ・ 参加されたみなさんのお話から、進学について、学校の特色や対応をふまえて、子どもの特性にあった学校選びをするために今から準備しないとなぁと思いました。子どもが動き始めて少し心のんびりしていたので、また気を引き締めて情報収集しないと思いました。また、子どもへの話し方アイデアいただき感謝です！ありがとうございました。
- ・ 「不登校の子供の親御さんがどのように今の学校の在り方を捉えておられるのか、どのように今までを過ごされて来たか」やそれぞれの経験談、進路についてなど聞かせていただき、役に立ちそうです。
- ・ 来ておられた方とお話しし、不登校のままの子もいれば途中から学校に行くケースもあったりと家庭や子供により さまざまな様子を伺い、今後の心がまえというか皆さんからリアルな場でお話しをお聞きする事が出来、情報を得る事が出来て何か、安心したところがありました。実際に不登校であるご本人の意見を聞けた事も貴重でした。
- ・ 皆さんはどのように考えておられ、どのようになっておられるのか聞けて、すぐに何かの役に立つ訳では無いかもしれませんが 助かる機会でした。

④ 生きづらさを抱えるギフテッド・2E の子をもつ親の会

SHINE～シャイン～

(1) 活動の概要

開催日	参加人数(うちスタッフ)	場所	備考
5月14日(日)	7名(うちスタッフ4名)	Zoom	
8月6日(日)	2名(うちスタッフ3名)	Zoom	
10月7日(土)	12名(うちスタッフ3名)	妹背の里	BBQ 交流会
12月10日(日)	6名(うちスタッフ4名)	Zoom	
2月4日(日)	1名(うちスタッフ3名)	Zoom	
計 5回	のべ 28名(うちスタッフ17名)		

(2) 活動の目的

生きづらさを抱えるギフテッドや、学習障害や ASD などの発達障害を併せもつ 2E の子どもは、学校や社会の中で困り感が強く、不適応をおこしがちである。そういった特性ある子どもを育てる保護者が集まり、日頃の困りごとやその解決策を話し合ったり、研修することにより、子どもへの関わり方について学びを深め、子どもの生きづらさの緩和につなげたり保護者の息抜きを図ったりする。

なかなか日常生活の中では、周りに困りごとを理解されたり、相談できる人がおらず、孤独になりがちなため、同じような特性をもつ子どものいる保護者同士の関わり合いを重視する。

(3) 対象者

- ・生きづらさを抱えるギフテッド
- ・2E(ギフテッドと発達障害を併せもつ特性)や、学校や社会の中で困り感の強いお子様を育てる保護者
- ・ギフテッド、2E ともに医師による診断がない場合が多いため、診断や IQ の数値に関わらず、特性を理解したり、子どもがより健全に生きていくための方策を話し合いたい保護者も含めて運営する。

(4) 活動内容

- ・日ごろ困っていることの共有
- ・話題は、特性の理解、知能検査、学校選び、その子に合った環境づくり、ホームスクーリング、得意を伸ばす、好きな事の見つけ方など。

(5) 活動の効果

- ・「同じ悩みを抱えているのは自分だけじゃない」と気付く事による安心感。孤独からの解放。仲間意識の醸成
- ・ギフテッド・2E に関する知識の習得
- ・人には話せない悩みを忌憚なく話せ、特性として取り上げられにくいギフテッドや2E の子育てについて、他者の意見を聞きながら、より理解を深めることができる。

(6) 参加者からの感想

- ・ 同じくらいの年齢だけでなく、いろんな年代のお子様の保護者の方の経験談が勉強になりました。親として一生懸命にやっているつもりだけど、そこには意識せずともリターンを期待していた事に気付きました。ひとりの人間として違う生命体であるという感覚を持つ事や、親が感情的になる時があってもいい、そういう姿をみせるのは悪い事ではないというのは目から鱗でした。新しい視点が持てたと思います。
- ・ 将来に向けて、好きなことをのばすと同時に出口戦略を立てておく
- ・ 疲れやすいことの対策として、取り除けるストレスは何か考えるといった話は大変参考になりました。
- ・ 同じ悩みを共有するだけではなく、自分と違う悩みについても生きづらさを理解につながりお聞きすることができて良かったです。
- ・ 人の話が聞くことが好きなので、他の方の色々なざっくばらんなお話が聞けて良かったです。
- ・ 同じような子のお話しがきけてとても心が軽くなりました！悩みも話し、助言や経験も聞けて勉強にもなりました。

5.決算報告

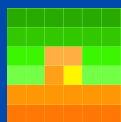
貸借対照表					
令和6年3月31日					
			【単位：円】		
科目			金額	科目	金額
(資産の部)				(負債の部)	
1. 流動資産				1. 流動負債	
	現金及び預金	4,517,446		未払金	693,333
	未収金	759,800		預り金	8,534
	仮払い	0		役員借入金	4,803,899
	その他	546,525			
2. 固定資産				2. 固定負債	
	投資その他の資産			負債合計	5,505,766
	繰延べ資産	212,030	(純資産の部)		
	有形固定資産	558,096	一般正味財産	1,088,131	
	その他		代替基金	0	
			その他	0	
			純資産合計	1,088,131	
資産合計			6,593,897	負債・純資産合計	6,593,897

損益計算書

(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)

【単位: 円】

科目		金額
(経常損益の部)		
経常収益		
受取寄付金	478,577	
受取会費	2,460,953	
受取民間助成金	23,788,000	
受取国庫補助金	87,000	
支援事業	1,808,800	
受取利息		
雑収益	154,689	
	経常収益計	28,778,019
経常費用		
事業費用		
給与手当	1,260,000	
謝金	3,956,660	
業務委託費	63,954	
	事業費用計	4,020,614
管理費用		
会議費	14,085	
交際費	17,084	
旅費交通費	112,540	
通信運搬費	110,874	
消耗品費	1,551,140	
修繕費	18,444,158	
水道光熱費	150,621	
地代家賃	379,950	
賃借料	14,010	
保険料	6,760	
諸会費	5,000	
租税公課	1,650	
研修費	25,000	
支払手数料	310,680	
新聞図書費	13,708	
広告宣伝費	1,450,536	
雑費	16,948	
研修材料費	103,719	
食材費	115,936	
減価償却費	211,092	
	管理費用計	23,055,491
	経常費用計	27,076,105
	経常利益	1,701,914
(経常外損益の部)		
経常外収益		
受取利息	23	
税引前当期純利益	0	
法人税、住民税及び事業税	0	
法人税等調整額	0	
当期純利益		1,701,937



一般社団法人

異才ネットワーク

〒520-0043

大津市浜大津4-3-25

大津オルタナティブスクールトライアンフ内)

Tel: 090-7885-6301

Mail: isai_nw@outlook.jp



異才ネットワーク トライアンフ

活 動 報 告